

5 学則変更の趣旨等を記載した書類

目次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容	2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性	2
(1) 社会的要請を踏まえた定員変更の必要性	2
(2) 教育研究上の目的	3
(3) 学位授与の方針（ディプロマポリシー）等	3
(4) 就職状況	4
(5) 入学状況	5
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	5
(1) 教育課程の変更内容	6
(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容	6
(3) 教員組織の変更内容	7
(4) 施設・設備の変更内容	7
4. 教育課程等の概要	8

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和7年度より，工学部電気電子・情報工学科情報コース（以下，「情報コース」という。）の入学定員を20名増員する。

学科名	入学定員		収容定員	
	変更前	変更後	変更前	変更後
社会基盤工学科	60 (10)	60 (10)	260	260
機械工学科	130 (10)	130 (10)	540	540
化学・生命工学科	150 (2)	150 (2)	604	604
電気電子・情報工学科	170 (8)	<u>190</u> (8)	696	<u>776</u>
電気電子コース	《75》	《75》		
情報コース	《70》	<u>《90》</u>		
物理コース	《25》	《25》		
合計	510 (30)	<u>530</u> (30)	2,100	<u>2,180</u>

※1 入学定員の（ ）内は編入学定員で外数

※2 入学定員の《 》はコース定員で，学科の入学定員の内数

※3 社会システム経営学環（学部等連係課程実施基本組織）に拠出される入学定員及び収容定員相当分は除く。

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

（1）社会的要請を踏まえた定員変更の必要性

岐阜県を含む東海地方では，自動車や航空宇宙産業をはじめとする機械産業を中心に製造業からの人材ニーズが強い。同時に地方活性化のための地域の伝統産業や中小企業におけるDX推進を支援する高度情報専門人材の養成も求められている。

岐阜県においては，県の総合計画である『清流の国ぎふ』創生総合戦略（2023～2027年度）」に掲げる政策のうち「次世代を見据えた産業の振興」として，産業のデジタル化を担う人材の育成の推進，中小企業・小規模事業者等のデジタル技術の活用による業務効率化・自動化に向けた設備導入など生産性向上・競争力強化やビジネス変革に向けた支援の充実，デジタル実装に向けた共同開発・実証事業等への支援やデジタル関連産業の育成・強化の推進等に取り組まれている。また，「岐阜県経済・雇用再生戦略」においても，岐阜県の経済振興の方向性の一つとして『DX』・『GX』推進加速化プロジェクト」が掲げられており，岐阜県の産業においてデジタル化が進められているところである。

このような状況の中、これまで学士課程においては情報コース、修士課程においては自然科学技術研究科知能理工学専攻知能情報学領域（以下、「知能情報学領域」という。）において情報科学分野の教育を行ってきたが、これらの学生についても地域の製造業や製造業を支える多様な企業に就職する者が多く、単なる情報処理技術者ではなく、これらの企業の現場において AI や DX を活用できることが強く求められている。一方、マテリアルズインフォマティクスやバイオインフォマティクスなど、異なる学術領域と連携する高度情報専門人材のニーズも多くなっており、このようなニーズに対応するため、高度な情報科学の専門能力を身に付け、先端 AI、データサイエンスの知識を持ち、さらには他学術領域とも連携できる人材の育成が必要である。

また、情報コース及び知能情報学領域の学生の就職先として自動車産業が約 30%を占めており、特にトヨタ自動車などの大手企業が求める即戦力人材の需要が高いことから、EV やモビリティ技術革新に向けた高度情報専門人材への需要の増加にも対応していく必要がある。このようなことから、現行のカリキュラムにおけるデータサイエンス、AI 科目をより充実し、理論だけでなく演習と組み合わせることでより地域社会のニーズに応える人材育成を行うとともに、より多くの高度情報専門人材を輩出することが喫緊の課題であると考えている。

（2）教育研究上の目的

工学部では、社会、自然、文化等に対する深い見識、優れた感性及び健全な心を養い、専門特化型から幅広い総合型まで、多様な個性に合った能力を育むことにより、人間性豊かで創造力に富んだ技術者の育成を目指す。

情報コースでは、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、情報・符号理論、数値解析、メディア処理、人工知能、ヒューマンインタフェース等の情報技術分野について教育を行い、情報工学分野での教育研究を通じ、人間性豊かで創造力に富んだ技術者の育成を目指す。特に、先進的なデータサイエンスや AI 技術を修得し、世界に通用する技術者を育成する。実験科目、実践型科目により問題解決能力、チーム力を育成する。

（3）学位授与の方針（ディプロマポリシー）等

工学部では、以下のような能力を備えた卒業生を輩出する。

- 1) ものづくり等の技術者として研究開発を推進できる基礎学力と創造力（基礎学力と創造力）
- 2) 幅広い教養、深い見識、社会人としての責任感に基づく倫理観と判断力（倫理観と判断力）
- 3) 問題を解決するための方法を忍耐強く探索する能力（忍耐強く探索する能力）
- 4) 研究開発を行うためのコミュニケーションスキル、協調性（協調性）

内容、個別能力	水 準
基礎学力と創造力	・ものづくり技術者としての共通リテラシーである数学を駆使し、かつ情報処理を行うことができる。 ・人文科学，社会科学を中心とした教養があり，ものづくり技術者としての深い見識を備えている。 ・技術者として不可欠な自然科学の基礎学力を研究・開発に応用することができる。 ・国際語としての英語の reading, writing, listening, speaking 能力を有し，技術英語を理解することができる。
倫理観と判断力	・環境に配慮するなどの技術者として必要な倫理観を有し，それに基づいてものごとを判断することができる。 ・新たな研究分野にチャレンジするための情報を収集ことができ，アイデアを創造し，課題の進め方等についての状況を判断することができる。 ・環境や安全に配慮した技術開発を推進することができる。
忍耐強く探索する能力	・技術開発のための集中力・持続力を有している。 ・論理的な思考に基づいて問題を解決することができる。
協調性	・コミュニケーションスキル・協調性を有し，グループワークを推進することができる。 ・情報発信能力を有し，自己の研究・開発結果を他に伝達することができる。

(4) 就職状況

情報コースにおいては，表 1 のとおり，毎年度 70%を超える学生が知能情報学領域へと内部進学し，知能情報学領域修了後の主な就職先企業は表 2 のとおりである。

表 1：情報コースから知能情報学領域への進学率

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	平均
情報コース入学定員(人)	70	70	70	70
知能情報学領域入学者数(人)	51	52	50	51
進 学 率(%)	73	74	71	73

表 2：主な就職先企業

業 種	就 職 先
情報通信	(株)NTT ドコモ, ヤフー(株), ソフトバンク(株), (株)バッファロー
自動車	(株)デンソー, (株)アイシン, (株)豊田自動織機
電機	ソニー(株), 日本電気(株), 富士通(株), ブラザー工業(株)
機械	川崎重工業(株), ヤマハ発動機(株), (株)マキタ
インフラ	中部電力(株), 東邦ガス(株), 東海旅客鉄道(株)
ゲーム, エンターテインメント・その他	(株)カプコン, (株)コーエーテクモホールディングス, (株)コナミデジタルエンタテインメント, セコム(株)

(5) 入学状況

工学部では、アドミッションポリシーを以下のとおり定めている。また、入学志願者の結果は表 3 のとおりであり、高い志願倍率を維持していることから、十分に学生が確保できる見込みである。

本学部では、21 世紀の社会を支える先端的な工業技術に対する深い関心があり、以下のような資質を持った学生を求めています。

1. 先端的な工学の理解に必要な数学・理科に関する基礎的学力を十分に備えている人
2. 理解力に富み、論理的な思考ができるだけでなく、柔軟性があり、新しい発想ができる人
3. 相手の意見に耳を傾け、自分が伝えたいことを表現できる人
4. 知的好奇心にあふれ、自主的な勉学意欲に富む人
5. 国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を備えている人

多様な入試を実施し、個性の異なる学生を受け入れて積極的に活性化を図っています。

表 3：情報コースにおける志願倍率（入試年度）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	平均
入学定員(人)	70	70	70	70	70	70
志願者数(人)	420	374	434	380	419	405
志願倍率(倍)	6.00	5.34	6.20	5.43	5.99	5.79
入学者数(人)	71	75	72	69	70	71

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

工学部では、カリキュラム・ポリシーを以下のとおり定めている。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するため、以下のカリキュラムを実施します。

- ・工学の基礎となる数学，物理，情報処理およびコミュニケーションツールとしての英語の修得，さらに専門とは異なる分野の概論の履修を通して，研究開発に必要な基礎学力を養成します。
- ・人文科学，社会科学等からなる全学共通科目を開講し，幅広い教養，深い見識，倫理観，判断力を養うとともに，豊かな知性と人間性を育みます。
- ・専門分野の講義に加え，演習・実験を配し，学理の基礎と応用を実践的に修得させるとともに，問題解決方法を探索する能力を涵養します。
- ・指導教員や大学院生との討論を通し，研究開発のための総合的なコミュニケーション能力，協調性，論理的な記述力，問題解決能力を養う場として卒業研究を課します。
- ・きめ細かく学習プログラムの進捗を自己認識させ，修学意欲を高めるようにします。

学修成果の評価については，全学的な申し合わせ及び各科目のシラバスに記載された成績評価項目等に基づき，授業目標への達成度により評価を行います。

（1）教育課程の変更内容

情報コースでは，これまでも最新の情報科学を修得するためのカリキュラム編成を行い，随時見直しを行いつつ，高度情報専門人材の育成に取り組んできたが，令和7年度から提供するカリキュラムにおいても，データサイエンス，AI を身に付けるための基礎から応用までの科目を体系的に再構築し，基礎となる数学，情報科学の基礎科目を1年次に学び，2年次ではデータサイエンス，AI の基礎を座学と演習を併用した講義を行い，3年次ではデータサイエンス，AI の応用科目と実践的科目を行う。これにより，分野を横断した高度情報専門人材の育成を行う。また，引き続き同一法人である名古屋大学との連携を深め，連携開設科目の新設や現行カリキュラムのさらなる充実に取り組む。

（2）教育方法及び履修指導方法の変更内容

AI とデータサイエンスの深い理解を有し，これらを駆使して多様な問題解決に対応するとともに，複数の分野の知識を統合し，新しい価値を創造できる能力を持った人材を輩出するため，情報コースでは実践型科目，グループワーク科目を設置し，問題解決能力を育む教育を実施する。産業界との連携を強化するために，地域企業や地域行政機関との協力体制を構築し，最新の技術動向や実務経験を本教育に導入する。

また、教員の専門性向上のため岐阜大学人工知能研究推進センターが中心となり、教員向け先端 AI の講演会、講習会による継続的な研修プログラムを実施し、教員が常に最新技術に精通し、高度な専門知識を学生に提供できるようにする。

(3) 教員組織の変更内容

情報コースの現教員配置数は、入学定員 70 名に対し 19 名(学生 3.68 名/教員 1 名)であり、入学定員を 90 名へと増員した場合は 6 名増員し、25 名(学生 3.6 名/教員 1 名)の教員が必要となる。AI、データサイエンス教育を今後より充実させるためには、意思決定科学、自律知能システム、ヒューマンコンピュータインタラクション、自然言語処理及び AI 並びにデータサイエンスの分野において新たな教員の確保が必要である。これらの新教員によって実践的な科目編成によるカリキュラムが実現できる。具体的には、AI の最新技術を取り入れたプロジェクトベースの学習、データサイエンスの応用を通じた実世界問題の解決等が可能となる。

教員の採用計画においては、論文業績だけでなく、実務経験としての外部資金獲得実績や共同研究の受入れ経験、さらに企業でのプロジェクト遂行能力を持つ候補者を特に重視する。また、多様性と新たな視点をもたらすことを期待し、女性や若手研究者の採用も積極的に行う。

このように、新たに採用する教員によって実験や演習科目を強化し、理論知識を実際の問題解決に適用する能力を高め、地域企業から求められる人材像の実現に大きく貢献する。

(4) 施設・設備の変更内容

教育体制や研究環境の整備にも取り組み、実践型科目のための演習室の整備と備品の充実、研究サポート体制の強化等を行う。先端 AI を学ぶためのエッジ AI 端末など演習備品の整備、クラウドコンピューティングを実践的に学ぶためのコンピュータシステムの導入を行う。

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(工学部電気電子・情報工学科)																		
科目 区分	授業科目名の名称		配当 年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態		基幹教員等の配置						備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹（助手を 教員を除く）	
教養科目	人文科学科目	初年次セミナー	1前		2			○								1	共同	
		哲学入門(正義について哲学しよう)	1前		2			○								1		
		哲学入門(西洋哲学入門)	1後		2			○								1		
		哲学入門(批判的思考(クリティカルシンキング))	1後		2			○								1		
		人間・死生学(現代人間論)	1後		2			○								1		
		近現代思想(日本の近代思想)	1後		2			○								1		
		近現代思想(自由と現代社会)	1前		2			○								1		
		近現代思想(西洋近現代思想)	1後		2			○								1		
		科学論(生命と癒しの科学論)	1前		2			○								1		
		東洋・日本思想(インド思想の特質)	1前		2			○								1		
		倫理学(倫理学とは何か)	1後		2			○								1		
		宗教学(比較宗教学概論)	1前		2			○								1		
		宗教学(社会問題と宗教)	1後		2			○								1		
		歴史学分野	歴史学入門(歴史学とは何か)	1前		2			○								1	
			西洋・中東史(西洋史(イギリス近代史))	1前		2			○								1	
			西洋・中東史(西欧諸国形成史)	1前		2			○								1	
			中国・朝鮮半島史(朝鮮・韓国の文化と日本との交流史)	1後		2			○								1	
			中国・朝鮮半島史(中国史)	1後		2			○								1	
			世界近現代史(現代国際関係史)	1前		2			○								1	
			世界近現代史(アメリカ概論)	1前		2			○								1	
			世界近現代史(ドイツ文化史)	1後		2			○								1	
			日本史(日本の歴史)	1後		2			○								1	
			日本近・現代史(近現代日本の政治と国家主義運動)	1後		2			○								1	
		民俗学・人類学(人類学入門)	1後		2			○								1		
		文学分野	文学(文学とは何か)	1前		2			○								1	
			外国文学(朝鮮・韓国の神話・文学・伝統芸能)	1前		2			○								1	
			外国文学(英米文学を読む)	1前		2			○								1	
			外国文学(三国志時代の文学)	1後		2			○								1	
			外国文学(西洋文学論)	1後		2			○								1	
			外国文学(ロシア革命と文学)	1後		2			○								1	
		言語分野	日本文学(近世文学の世界)	1前		2			○								1	
			言語学入門(日本語学入門)	1前		2			○								1	
	言語学入門(一緒に学ばまい!岐阜の方言と南欧の言語)		1前		2			○								1		
	言語学(北欧のことばと地域の方言)		1前		2			○								1		
	言語学(フランス語論)		1前		2			○								1		
	言語学(児童の文章表現)		1後		2			○								1		
	言語学(映画で見る英語の諸言語現象と欧米文化)		1前		2			○								1		
	言語学(日本語再発見)		1前		2			○								1		
	日本語表現論(劇作における会話表現)		1前		2			○								1		
	日本語表現論(日本語口頭表現)		1前		2			○								1		
	日本語表現論(実用的な日本語表現を学ぶ)		1後		2			○								1	メディア	
	日本語表現論(あいみよんの歌詞から学ぶ日本語表現)		1後		2			○								1		
	日本語表現論(プレゼンテーション(プロジェクト企画実践1))	1前		2			○								1			
	分科心理学・学	心理学入門(心理学概論)	1前		2			○								5	オムニバス	
		心理学入門(社会心理学)	1後		2			○								1		
	文化・芸術分野	心理学(幼児発達支援入門)	1後		2			○								1		
		心理学実験・調査法(心理学実験・調査法)	2前		2			○								1		
		西洋文化論(ロシア人の生活と言語)	1前		2			○								2	共同	
		西洋文化論(西洋建築史)	1後		2			○								1		
		西洋文化論(ロシアの自然と言語)	1後		2			○								2	共同	
		日本文化論(日本語文化論:国語教育史)	1前		2			○								1		
		日本文化論(礼儀作法の理論と背景)	1前		2			○								1		
		現代文化論(現代の文化研究)	1後		2			○								1		
		現代文化論(科学技術と人間社会)	1前		2			○								5	オムニバス	
		異文化論(社会の中の言語・言語の中の社会)	1後		2			○								1		
		異文化論(リトアニア学)	1前		2			○								1		
		異文化論(グローバル人材としての語外国理解)	1後		2			○								9	オムニバス	
		美術論(美術史)	1前		2			○								1		
		美術論(デザイン論)	1前		2			○								1		
		美術論(カリグラフィ論)	1後		2			○								1		
		音楽論(オーケストラ音楽を聴く)	1前		2			○								1		
		音楽論(実用作曲法)	1前		2			○								1		
		音楽論(ドイツ歌曲への誘い)	1前		2			○								1		
		音楽論(ピアノ基礎(連弾))	1前		2			○								1		
社会科学科目		法学分野	法学入門(法とは何か)	1前		2			○								1	
	立法体験:まちづくり条例制定の体験		1後		2			○								1		
	日本国憲法(憲法)		1前・後		2			○								1		
	日本国憲法(人権)		2		2			○								1		
	日本国憲法(教職のための憲法)		1後		2			○								1		
	民事法(財産と法)		1後		2			○								1		
	社会法(労働と法)		1後		2			○								1		
	裁判法(市民と裁判)		1後		2			○								1		
	刑事法(犯罪と刑罰について)		1後		2			○								1		
	知的財産権法(知的財産権法入門)		1前		2			○								3	オムニバス	
	分科政治学	現代政治論(近代日本の政治と行政)	1後		2			○								1		
		現代政治論(現代日本の政治)	1前		2			○								1		
		現代政治論(日本の政治と世界)	1後		2			○								1		
		平和学(国際平和学)	1前		2			○								1		
	野学経済	経済学入門(現代の日本経済)	1前		2			○								1		
		経済学入門(社会における経済の仕組み)	1前		2			○								1		
		マクロ経済学(経済政策)	1後		2			○								1		
		経営学入門(はじめての経営学)	1前		2			○								2	オムニバス	
	分科野営学	経営学入門(ファイナンス・アカウンティング入門)	1後		2			○								2	オムニバス	
		経営学入門(経営学とは何か)	1前		2			○								1		
		マネージメント論(マーケティング論入門)	1前		2			○								1		
		マネージメント論(マネージメントシステムと監査)	1前		2			○								1		
マネージメント論(めざせソーシャルビジネス起業)		1前		2			○								1			
マネージメント論(PBLマーケティング)		1前		2			○								1			
社会学分野	社会学入門(社会階層論)	1前		2			○								1			
	社会学入門(やさしいジェンダー学入門)	1後		2			○								1			
	社会学入門(社会の中の看護)	2		2			○								6	オムニバス		
	社会学入門(時事問題で学ぶファシリテーション)	1前		2			○								1			
	現代社会論(少子高齢化社会)	1前		2			○								1			
	現代社会論(現代を生きる家族)	1前		2			○								5	オムニバス		
	現代社会論(社会の基盤)	1後		2			○								7	オムニバス		
	現代社会論(宇宙時代を生きる)	1後		2			○								1			
	現代社会論(Aiishiのライフスタイルから現代社会を考える)	1後		2			○								1			
	現代社会論(ワーク・ライフ・バランス(男女共同参画論))	2		2			○								12	オムニバス		

科目 区分			授業科目名の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置							備考	
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外を除く教員			
自然科学科目	分野	現代社会論(情報社会論) メディア論(メディア論の基礎) メディア論(メディアの特徴・歴史・現状・課題) メディア論(国際メディア論) メディア論(映画で学ぶファシリテーション)	1前			2	○										1	集中		
			1前			2	○										1			
			1前			2	○										1			
			1後			2	○										1			
			1前			2	○										1			
		地域理論・地域論(環境学入門)	1後			2	○											1		
			1後			2	○										1			
			1前			2	○										1			
		分野教育学	教育論(障害児教育臨床学)	1前			2	○											1	
			教育論(教育哲学)	1前			2	○											1	
			教育論(学校の社会的意味を問う)	1後			2	○											1	
			教育論(特別支援教育ベーシック)	1前			2	○											1	
		合分野・総	社会総合(生活の経済)	1前			2	○											1	集中
			社会総合(環境・CSR(企業の社会的責任)とマネジメント)	1前			2	○											1	
			社会総合(企画術入門)	1前			2	○											1	
			安全科学(交通安全の科学)	1前			2	○											1	
			安全科学(社会安全学入門)	1後			2	○											1	
	自然科学分野	数学分野	教養の数学(コンピュータのための数学概論)	1後			2	○										1	オムニバス	
			教養の数学(図学)	1後			2	○										1		
			教養の数学(数学の創造と活用)	1後			2	○										1		
			基礎代数学(数学概論II)	1後			2	○										2		
			基礎代数学(古典数学へのいざない)	1前			2	○										1		
			基礎解析学(解析学の基礎)	1前			2	○										1		
			基礎解析学(微積分学)	1前			2	○										1		
			基礎統計学(統計学の基礎)	1後			2	○										1		
			基礎統計学(実感する統計学)	1後			2	○										1		
		物理学分野	物理学入門(現代物理学の基礎(相対論と量子論入門))	1前			2	○											1	オムニバス
			物理学入門(物理実験で調べてみよう)	1前			2	○											1	
			教養の物理学(雷の科学)	1前			2	○											1	
			教養の物理学(物性の力学)	1後			2	○											2	
			教養の物理学(力学現象の数学的見方)	1後			2	○											1	
			教養の物理学(日曜大工からはじめる力学)	1前			2	○											1	
		現代物理学(表面張力の物理学)	1後			2	○											1		
		化学分野	化学入門(日常生活でよく見る化学現象や化学製品を学ぶ)	1前			2	○											1	オムニバス
			化学入門(身近なものから学ぶ化学)	1前			2	○											2	
			化学入門(身の回りでは起こる現象から最先端技術に関わる化学)	1後			2	○											1	
			化学入門(化学実験で調べてみよう)	1前			2	○											1	
			教養の化学(化学概論)	1後			2	○											2	
	教養の化学(現代の視点から、古典に学ぶ(化学系))		1後			2	○											7		
	現代化学(プラスチック材料の基礎)		1前			2	○											1		
	現代化学(ソフトマター)	1後			2	○											3			
	現代化学(ケミカルエンジニアリング入門)	1前			2	○											3			
	生物学分野	生物学入門(現代生物学入門)	1前			2	○											2	オムニバス	
		生物学入門(微生物と病気)	1前			2	○											5		
		生物学入門(森と人の生態学(岐阜の森林から学ぶ))	1後			2	○											1		
教養の生物学(動物と病気)		1後			2	○											3			
教養の生物学(ヒトのからだ)		1後			2	○											5			
教養の生物学(生命の仕組み)		1後			2	○											3			
教養の生物学(食の多様な役割)		1前			2	○											4			
教養の生物学(食の多様な役割)		1前			2	○											4			
現代生物学(葉の細胞生物学)		1後			2	○											1			
現代生物学(生き物よもやま話)		1後			2	○											13			
現代生物学(生物共生論)		1前			2	○											3			
現代生物学(実践生物化学)		1前			2	○											1			
医学分野	教養の医学(医学史)	1前			2	○											14	オムニバス		
	教養の医学(幹細胞と再生医学)	1後			2	○											1			
	現代医学(生体防御・腫瘍病理基礎)	1後			2	○											6			
	現代医学(身近な薬と毒の科学)	1後			2	○											2			
	現代医学(現代医療の最前線)	1前			2	○											14			
分分野宇宙地球学	教養の宇宙地球科学(気象学概論)	1前			2	○											2	オムニバス		
	教養の宇宙地球科学(地球環境の変遷)	1後			2	○											1			
	教養の宇宙地球科学(ESD入門)	1前			2	○											1			
	現代宇宙地球科学(宇宙科学)	1前			2	○											1			
	環境学分野	教養の環境学(自然災害と生活)	1後			2	○												2	オムニバス
教養の環境学(生物の多様性と人間社会)		1前			2	○											1			
教養の環境学(土の物理的環境)		1前			2	○											1			
教養の環境学(生物生産と環境)		1後			2	○											1			
教養の環境学(里山と水辺の環境学)		1前			2	○											1			
教養の環境学(環境学における環境問題・水・土・生命・人)		1後			2	○											1			
現代環境学(エネルギー問題)		1前			2	○											1			
現代環境学(生物多様性を支える森林と動物たち)		1前			2	○											4			
現代環境学(世界の食料と人口問題)		1前			2	○											4			
現代環境学(ESD実践研究)		1後			2	○											1			
現代環境学(社会とエコロジーの接点)		1後			2	○											1			
現代環境学(世界の農業事情)		1後			2	○											3			
自然科学総合分野		自然科学総合(化学と生物のインターフェース)	1後			2	○											3	オムニバス	
		自然科学総合(科学的なものの考え方)	1後			2	○											2		
		自然科学総合(数値シミュレーション入門)	1前			2	○											1		
	自然科学総合(ものの科学)	1後			2	○											1			
	自然科学総合(化学と生命科学)	1前			2	○											7			
	自然科学総合(古典に学ぶ(偉大な科学者の学問と人生))	1後			2	○											1			
	自然科学総合(生物間コミュニケーション)	1前			2	○											3			
	自然科学総合(ロボット文化論)	1後			2	○											1			
	自然科学総合(食と調理)	1後			2	○											1			
分講実野座験	自然科学実験講座(ご飯までのフィールド科学)	1前			2	○											3	オムニバス		
	自然科学実験講座(家畜たちのフィールド科学)	1前			2	○											1			
	自然科学実験講座(金属を使ったものづくり)	1前			2	○											1			
	分学情報野報	情報学入門(ITの歴史と未来)	1前			2	○												1	集中
情報学入門(経済のためのオペレーション・システムズ・リサーチ)		1後			2	○											1			
情報の情報学(オペレーションズ・リサーチにおけるモデリング)		1前			2	○											1			
岐阜学	科目	環境マネジメントと環境経営	1前			2	○											8	共同 オムニバス オムニバス オムニバス 共同 共同 オムニバス 共同 共同 共同	
		地域社会と災害	1後			2	○											10		
		畜産・水産業の歴史と食文化	1後			2	○											3		
		世界の食文化	1後			2	○											5		
		環境リーダー実践(上級)I	2前			2	○											1		
		環境リーダー実践(上級)II	2後			2	○											1		
		人権と社会教育	1後			2	○											3		
		現代社会と学習・教育(生涯学習概論I)	1前			2	○											3		
		生涯学習概論II	1前			2	○											3		
		社会教育施設・支援者論	1後			2	○											3		

科目 区分			授業科目名の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外を除く教員	
			教育社会システム論(教育社会学)	1前		2		○								3	共同	
			生涯学習成果の還元とボランティア活動	1後		2		○									3	共同
			社会教育実習	1後		1				○							3	共同
			野外活動実習	1後		1				○							3	共同
			社会教育課題研究(学習プログラム開発論)	1後		2		○									1	
			現代社会問題と社会教育	1前		2		○									1	
			学習者の特性と支援方法	1前		2		○									4	共同
			社会教育における地域ネットワーク形成	1前		2		○									1	
			社会教育の意義と展開	1後		2		○									1	
			岐阜県の生物の分布と生態	1後		2		○									6	オムニバス
			岐阜大学の教育研究と運営	1前		2		○									15	オムニバス
			まちづくりリーダー入門	1前		2		○									3	共同
			まちづくりリーダー実践	1後		2		○									3	共同
			岐阜の自然(地質・活断層と水環境)	1前		2		○									3	オムニバス
			岐阜の自然と人：森、川、湿地の利用とその保全	1前		2		○									2	オムニバス
			フューチャーセンター入門	1前		2			○								6	共同
			人と自然との関わりから見た岐阜	1前		2			○								6	共同
			人と自然の関わりから見た岐阜(実践)	1後		2			○								6	共同
			岐阜の産業：地域で活躍する企業と人	1前		2		○									1	
			地域産業と企業戦略入門：岐阜の企業を知る	1前		2		○									1	
			岐阜にまつわる東洋史	1前		2		○									1	
			地域防災リーダー基礎	1前・後		2		○									1	集中
			地域防災リーダー実践I	1前・後		2			○								1	集中
			地域防災リーダー実践II	1前・後		2			○								1	集中
			岐阜県の環境教育と科学・技術	1前		2		○									4	オムニバス
			古今ものづくり	1前		2		○									1	
			岐阜の地方自治とその課題：政策法務の可能性	1後		2		○									1	
			高年次教養セミナー	1後		1		○									5	オムニバス・集中
			キャリア形成論	1前・後		2		○									1	
			プロジェクト型インターンシップ	1後		2		○									1	
			現代社会とボランティア・地域活動	1前		2		○									1	
			生活と金融・人生設計と資産形成	1後		2		○									1	
			自己省察と将来のキャリア設計	1後		2		○									6	共同
			自分らしいキャリア設計I	1前		2		○									5	共同
			アントレプレナーシップ入門	1前		2		○									1	
			岐阜における働き方：ワークライフバランスを考える	1前		2		○									1	オムニバス
			岐阜大学の歴史と高等教育論	1前		2		○									1	
			地域系インターンシップI	1前		1			○								6	共同・集中
			地域系インターンシップII	1後		1			○								6	共同・集中
			産業系インターンシップI	1前		1			○								6	共同・集中
			産業系インターンシップII	1後		1			○								6	共同・集中
			地域リーダー実践(上級)I	1前		2			○								6	共同・集中
			地域リーダー実践(上級)II	1後		2			○								6	共同・集中
			産業リーダー実践	1前		2			○								6	共同・集中
			持続可能な地域と環境リテラシー	1後		2		○									7	共同
			グローカリゼーションと異文化理解	1前		2		○									3	共同
			グローバルリーダー実践I	2前		2			○								5	共同
			グローバルリーダー実践II	2後		2			○								3	共同
	スポーツ・健康科学科目	講義 健康科学	健康科学	1後		2		○								11	オムニバス	
			ヘルスプロモーションと地域保健	1後		2		○								4	共同	
スポーツコンディショニング			1後		2		○								1			
健康とQOL			1前		2		○								6	オムニバス		
栄養と運動			1後		2		○								1			
スポーツ 演習分野		雪上スポーツで学ぶ(スキー)	1後		2			○							3	共同・集中		
		ヨガ・エアロビクス	1前		2			○							1			
		スケートボード	1後		2			○							1			
		ハンドボール	1前		2			○							1			
		フットサル	1後		2			○							1			
		新卓球(ラージボール)	1後		2			○							1			
		ファストピッチ・ソフトボール(ウインドミル投法入門)	1前		2			○							1			
		卓球・水泳	1前		2			○							2	共同		
		太極拳	1前		2			○							1			
		ベタンク	1前・後		2			○							1			
		バドミントンAI	1前・後		2			○							1			
		サッカー	1後		2			○							1			
		卓球	1前・後		2			○							1			
		ボールゲームI	1前		2			○							1			
		ボールゲームII	1後		2			○							1			
		ボールゲームIII	1前		2			○							1			
		バレーボールA	1前		2			○							1			
		テニスI	1前		2			○							1			
		テニスII	1後		2			○							1			
バスケットボールA	1前		2			○							1					
ソフトボールBI	1前		2			○							1					
アダブテッドスポーツ	1前		2			○							1					
ジョギングII	1前・後		2			○							1					
バランスボールエクササイズ	1前・後		2			○							1					
剣道I	1後		2			○							1					
英語科目		英語1	1前		1			○							8	共同		
		英語2	1後		1			○							10	共同		
		英語3	1後		1			○							3	共同		
		英語4	1前		1			○							9	共同		
		EnglishAdvancedReading	1前			1		○							2	共同		
		EnglishAdvancedWriting	1後			1		○							2	共同		
		StadiumGeneraleA	1後			2		○							1			
		StadiumGeneraleB	1前			2		○							1			
		SummerCamp	1前			2		○							1			
		海外留学準備セミナー	1前			2		○							1			
言語と文化科目	言語と文化分野	言語と文化(ドイツ語)	1前		2			○							3	共同		
		言語と文化(フランス語)	1前		2			○							2	共同		
		言語と文化(中国語)	1前		2			○							4	共同		
		言語と文化(ポルトガル語)	1前		2			○							1			
		言語と文化(朝鮮・韓国語)	1前		2			○							1			
		言語と文化(アイスランド語)	1後		2			○							1			
		短期海外研修A	1前		2			○							2	共同		
		短期海外研修B	1後		2			○							1			
		短期海外研修E	1前		2			○							1			
		短期海外研修F	1後		2			○							1			
		短期海外研修F	1後		2			○							1			
		第二外国語	ドイツ語I	1後		1			○							1		
			ドイツ語II	1後		1			○							1		
			フランス語I	1後		1			○							1		
			フランス語II	1後		1			○							1		
	中国語I		1後		1			○							2	共同		

科目 区分			授業科目名の名称	配当 年次	主要 授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手以外を除く） 教員		
社会人リ デ ン シー	部 分 野	中国語Ⅱ	1後			1		○								2	共同		
		朝鮮・韓国語Ⅰ	1後			1		○								1			
		朝鮮・韓国語Ⅱ	1後			1		○								1			
	日本語表現Ⅰ(初級)	1前		1			○								1				
	先輩社会人に学ぶ：実りある学生生活を送るために	1前・後		1	1		○								1				
数理・ データサイエ ンス・AI科目		データ科学基礎	1前		1			○								7	共同		
		データ科学基礎演習A	1前		1			○								7	共同（化学・生命工学科必修）		
		データ科学基礎演習B	1前		1			○								7	共同（化学・生命工学科以外必修）		
		データサイエンス入門	1前・後			1		○								1			
		小計（314科目）	—	—	10	591	0	—	—	—	0	0	0	0	0	691	—		
教 養 科 目		社会基盤工学概論	1前			1		○				1	1				オムニバス・共同・メディア		
		機械工学概論	1前			1		○				1	1				オムニバス・共同・メディア		
		化学・生命工学概論	1前			1		○				1	1				オムニバス・共同・メディア		
		電気電子・情報工学概論	1前			1		○				1	1				オムニバス・共同・メディア		
		技術と技術者の倫理	3前		2			○				4	5			7	オムニバス・共同		
		小計（5科目）	—	—	2	4	0	—	—	—	4	5	0	0	0	7	—		
		微分積分Ⅰ	1前		2			○				2				1	共同		
		微分積分Ⅱ	1後		2			○				2				1	共同		
		線形代数Ⅰ	1前		2			○				3					共同		
		線形代数Ⅱ	1後		2			○				1	1			1	共同		
		微分方程式	2前		2			○									共同		
		確率統計	1後		2			○				2				1	共同		
		力学	1前		2			○				1				1	共同		
		電磁気学基礎	1後		2			○				1	1			1	共同		
		振動波動	2前				2	○								2	共同		
		現代物理学概論	4前					○											
		化学基礎	2前		2			○					3						
		生物学基礎	2後		2			○											
		地学	1前		2			○											
		情報処理入門	1後		2			○				2				2	共同		
		プログラミング基礎	1後		2			○								1	共同		
		工学基礎実験	1前		1			○		○		3	2		1	2	共同		
		電気電子・情報英語Ⅰ	3前		2			○								1			
		電気電子・情報英語Ⅱ	3後		2			○								1			
		技術表現法	2前		2			○								4			
		機械学習・人工知能概論	1後			2		○								1			
		海外インターンシップ	通年			2		○											
		小計（21科目）	—	—	27	0	14	—	—	—	11	10	0	3	0	18	—		
		金 型 創 成 技 術 科 目		金型概論	4後		2		○				1	1			2	共同	
				金型設計基礎	4後		2		○				1	1			2	共同	
金型設計実習	4後				1			○			1	1			2	共同			
金型加工実習Ⅰ	4後				1			○			1	1			1	共同			
金型加工実習Ⅱ	4後				1			○			1	1			1	共同			
成形加工実習	4後		1			○			1	1			2	共同					
		小計（6科目）	—	—	0	0	8	—	—	—	2	1	0	0	0	2	—		
		航空宇宙生産技術概論	3前		2			○				1				1			
		航空宇宙生産技術（品質工学）	3後		2			○								1			
		航空宇宙生産技術（経営工学）	3後		2			○								1			
		航空宇宙生産技術（学外研修）	3前		1			○				1							
		航空宇宙生産技術（生産管理工学）	4前		2			○								1			
		航空宇宙生産技術（機械工学概論Ⅰ）	4前		2			○				1							
		航空宇宙生産技術（機械工学概論Ⅱ）	4前		2			○				2	1						
		航空宇宙生産技術（情報工学概論Ⅰ）	4前		2			○						2					
		航空宇宙生産技術（情報工学概論Ⅱ）	4前		2			○				1		2					
		小計（9科目）	—	—	0	0	17	—	—	—	8	1	0	4	0	4	—		
		工 業 科 教 育 法 科 目		工業科教育法Ⅰ	3前		2		○								1		
				工業科教育法Ⅱ	3後		2		○								1		
				職業指導	4通年		4			○								1	
				教師論	1後		2			○								1	
教育原論	2前				2			○								1			
		教育経営論	1前		2			○								1			
		教育・学校心理学	1後		2			○								1			
		特別支援教育論	1後		1			○								1			
		教育課程論	1前		2			○								1			
		高等学校数学科教育法Ⅰ	2前		2			○								1			
		高等学校数学科教育法Ⅱ	2後		2			○								1			
		総合的な学習の時間及び特別活動等の指導法	1集中		2			○								1			
		教育の方法及び技術（ICT活用を含む）	2後		2			○								1			
		生徒指導と進路指導	2後		2			○								1			
		学校教育相談	3前		2			○								1			
		教育実習事前事後指導（高等学校）	4集中		1			○		○						4	共同		
		高等学校教育実習	4集中		2			○		○						4	共同		
		教職実践演習（高等学校）	4集中		2			○		○						1	共同		
		小計（18科目）	—	—	0	0	35	—	—	—	0	0	0	0	0	8	—		
				微分方程式応用	2後		2	2		○					1				応用物理コースは選択必修
応用数学Ⅰ	2前				2			○					1				応用物理コースは選択必修		
統計力学概論	2後				2			○								1			
電気回路学基礎	2前				2			○								1			
電子回路学基礎	2後				2			○											
		数値解析	2/3前		2	2		○					1	1			応用物理コースは選択必修		
		情報数学	1後		2	2		○					1				1	情報コースは選択必修	
		通信工学	3後		2	2		○					1	1			情報コースは選択必修		
		信号処理	3前		2	2		○					2	1			情報コースは選択必修		
		情報理論	2後		2			○					1	1			情報コースは選択必修		
		制御工学基礎	2後		2			○					1	1					
		光学	3前		2			○											
		計算機支援設計製図	3後		2			○											
		卒業研究	4通年	○	8			○			73	59		33		1	共同		
		小計（14科目）	—	—	8	14	26	—	—	—	73	59	0	33	0	5	—		
		電磁気学Ⅱ	2前	○	2			○					1						
		電磁気学Ⅲ	2後	○	2			○								1			
		電磁気学演習Ⅰ	1後	○	1			○											
		電磁気学演習Ⅱ	2前	○	1			○				1							
		電磁気学演習Ⅲ	2後	○	1			○						1					
		電気回路学Ⅱ	2後	○	2			○											
		電気回路学演習Ⅰ	2前	○	1			○				1				1			
		電気回路学演習Ⅱ	2後	○	1			○											
		電子回路学Ⅱ	3前	○	2			○				1							
		電子回路学演習Ⅰ	2後	○	1			○						1					
		電子回路学演習Ⅱ	3前	○	1			○								1			
		電気電子工学実験Ⅰ	2前	○	2			○											
		電気電子工学実験Ⅱ	2後	○	2			○				1							
		電気電子工学実験Ⅲ	3前	○	2			○							1				
		電気電子工学実験Ⅳ	3後	○	2			○						1					

科目 区分	授業科目名の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く）教員	
科目【電気電子コース】	物理数学基礎	1前				2	○			1						
	プログラミング応用	2前				2	○									
	量子力学概論	2前				2	○								1	
	固体電子物性	2後				2	○				1					
	半導体工学	3前				2	○									
	デバイス工学	3後				2	○				1					
	磁性材料工学	3前				2	○				1					
	半導体プロセス工学	3後				2	○					1				
	誘電体工学	3後				2	○					1				
	電力工学基礎	2後				2	○					1				
	電力ネットワーク	3後				2	○			1						
	電気エネルギーシステム工学	3後				2	○								1	
	電気機器	3前				2	○			1						
	パワーエレクトロニクス	3後				2	○			1						
	電気電子計測学	3前				2	○					1				
	電気法規と施設管理	3前				2	○								1	
	電磁波工学	3前				2	○			1						
	システム制御	3前				2	○								1	
	システム工学	3後				2	○								1	
	計算機工学Ⅰ	2後				2	○			2	1					
	計算機工学Ⅱ	3前				2	○				1					
	回路網設計	3後				2	○			1						
小計（37科目）		—	—	23	0	44	—	—	6	8	0	5	0	4	—	
コース科目【情報コース】	確率統計入門	1前	○		2	○									1	
	プログラミング実践	2後	○		2	○									1	
	情報工学セミナー	3後	○		2		○			8	8		4		2	共同
	応用統計データ解析	2前			2	○									1	
	オートマトン理論	3前			2	○				1						
	アルゴリズム論	2前			2	○				1						
	バーチャリアリティ	3後			2	○									1	
	コンピュータグラフィクス	2前			2	○							1			
	オペレーティングシステム	2後			2	○							1			
	コンピュータネットワーク	3後			2	○							1			
	符号理論	3前			2	○							1			
	画像処理	3前			2	○				1						
	深層学習	3前			2	○									1	
	暗号と情報セキュリティ	3前			2	○				1						
	人工知能	3後			2	○				1						
	機械学習基礎	2前			2	○									1	
	機械学習応用	2後			2	○									1	
	データベース論	2後			2	○						1				
	音声認識	3前			2	○									1	
	We bシステム	3前			2	○									1	
	自然言語処理	3後			2	○									1	
	プログラミング応用	2前	○		2	○					1			1		
	量子力学概論	2前			2	○									1	
	情報工学実験Ⅰ	2前	○		2	○		○		1						
	情報工学実験Ⅱ	2後	○		2	○		○		1						
	情報工学実験Ⅲ	3後	○		2	○		○		1						
小計（26科目）	—	—	14	0	38	—	—	—	8	8	0	4	0	12	—	
コース科目【応用物理コース】	ベクトル解析	2前	○		2	○				1						
	応用数学Ⅱ	2後	○		2	○					1					
	幾何学	3前	○		2	○				1						
	代数学	3前				○										
	物理数学	3前			2	○									1	
	ダイナミカルシステム	3後			2	○									1	
	数理物理	3後			2	○				1						
	解析力学	2前	○		2	○				1						
	応用電磁気学	2後	○		2	○				1						
	量子力学	2後	○		2	○									1	
	流体・弾性体力学	3後				○				1						
	物性物理学	3前			2	○				1						
	光エレクトロニクス	3前			2	○				1						
	半導体物理学	3後			2	○				1						
	宇宙物理学概論	3後			2	○									1	
	宇宙電波工学	3後			2	○						1				
	ナノスケール工学	4前			2	○				1						
	応用物理学演習Ⅰ	2前	○		1	○		○			1					
	応用物理学演習Ⅱ	2後	○		1	○		○				1				
	応用物理学演習Ⅲ	3前	○		2	○		○		1						
	応用物理学実験	3前	○		2	○		○		1						
	応用物理セミナー	3後	○		2			○		5	3		3		4	共同
	プログラミング応用	2前			2	○									1	
	量子力学概論	2前	○		2	○										
小計（24科目）	—	—	21	0	24	—	—	—	5	3	0	3	0	4	—	
合計（474科目）		—	—	105	609	206	—	—	73	59	0	33	0	792	—	
学位又は称号				学士（工学）				学位又は学科の分野				工学関係				
卒業・修了要件及び履修方法												授業期間等				
電気電子コースは、教養科目の34単位、基礎科目の必修科目27単位、学科共通科目の必修科目8単位を含み26単位及びコース科目の必修科目23単位を含み39単位を修得し、132単位以上修得すること。（学期毎の履修科目の登録の上限は教養科目を含め30単位（第1年次においては34単位）を上限とする。）								1 学年の学期区分				2期				
								1 学期の授業期間				15週				
								1 時限の授業時間				90分				
情報コースは、教養科目の34単位、基礎科目の必修科目27単位を含み29単位、学科共通科目の必修科目8単位、選択必修科目6単位及びコース科目の必修科目14単位を含み38単位を修得し、132単位以上修得すること。（学期毎の履修科目の登録の上限は教養科目を含め30単位（第1年次においては34単位）を上限とする。）なお、学科共通科目のうち、情報数学、通信工学、信号処理及び情報理論の8単位中6単位以上を選択必修とする。																
応用物理コースは、教養科目の34単位、基礎科目の必修科目27単位を含み29単位、学科共通科目の必修科目8単位、選択必修科目4単位を含み22単位及びコース科目の必修科目21単位を含み33単位を修得し、132単位以上修得すること。（学期毎の履修科目の登録の上限は教養科目を含め30単位（第1年次においては34単位）を上限とする。）なお、学科共通科目のうち、微分方程式応用、応用数学Ⅰ及び数値解析の6単位中4単位以上を選択必修とする。																